

スチュアートハート教授来日記念シンポジウム
『BOPビジネスの最先端』
～超巨大市場での成長と持続可能性の追求～
の御案内

2009年は、日本におけるBOP(Base of the pyramid)ビジネスの元年と呼ばれるように、BOPビジネスの重要性が急速に浸透した。企業が先進国市場から新興国市場へと力点を置き換えている中、BOP市場は最後の巨大市場とも、新興国市場で勝者となるためのキー市場とも、リバースイノベーションを生み出す市場とも捉えられる。また、ビジネスのノウハウを、国際開発領域に取り入れるその手法は、貧困等のグローバルイシューを継続的に解決するというイノベーションをこの世界にもたらすと、企業のみならず、各国政府機関、援助機関、国際機関、NGO等からも注目されている。

早稲田大学アジア・サービス・ビジネス(ASB)研究所では、この度BOPビジネス支援センターを運営する経済産業省、JICA、ジェトロ、野村総合研究所と連携し、コーネル大学スチュアートハート教授をお招きし、BOPビジネスの可能性を模索するシンポジウムを開催する。

今回約20年ぶりに来日されたスチュアートハート教授は、故CKプラハラード教授とともに、このBOPビジネスの概念を初めて提唱したBOPビジネスの権威であり、それと同時に、SCジョンソン、デュポン、HP、テトラパック等の多国籍企業のBOPビジネスの取り組みを実践的にサポートしてきた人物である。

また、スチュアートハート教授は、1997年に「Beyond Greening: Strategies for a Sustainable World」で、マッキンゼー賞を受賞しており、環境ビジネス業界における権威でもある。そのため、近年では、中国において、BOPビジネスとグリーンテックビジネスを融合した「グリーンリープ」という途上国に向けた環境ビジネスと、そこで孵化されたイノベーションの先進国市場への適応を目指したイニシアティブを積極的に推進されている。

本シンポジウムでは、スチュアートハート教授から、BOPビジネス、さらにはグリーンリープビジネスの実態と実践手法を提示いただくことにより、BOPビジネスの可能性を描き出す。また、経済産業省、JICA、野村総合研究所と日本のBOPビジネスを先導してきた組織とのパネルディスカッションにより、BOPビジネスによって収益を生み出していくためのポイント、展開初期段階に陥る課題、新時代の産官学連携のあり方を明らかにしていく。

1. 日 時： 2011年6月28日(火) 14:30-17:30 (開場 14:00)
2. 主催・共催・後援： 早稲田大学ASB研究所主催、経済産業省・JICA・JETRO・株式会社野村総合研究所共催、国際ビジネス研究学会後援
3. 場 所： 早稲田大学 大隈記念講堂 小講堂(住所：〒169-8050 西早稲田 1-6-1)
4. 参加費用： 無 料(日本語同時通訳あり)
5. 定員： 300名 ※参加申込が定員を上回った場合は、先着順とさせていただきます。
6. プログラム：
 - 【第1部】
 - 14:30-14:35 開会挨拶
早稲田大学ASB研究所長 太田 正孝
 - 14:35-15:35 基調講演「Next Generation Strategies for the Base of the Pyramid」
コーネル大学ジョンソンスクール教授 ※スチュアート・L・ハート
 - 15:35-16:00 プレゼンテーション
「BOPビジネスの実践と、乗り越えるべき課題」～世界の潮流と日本の役割～
＜プレゼンター＞
経済産業省 貿易経済協力局 通商金融・経済協力課長 ※小山 智
JICA 民間連携室連携推進課 課長 ※山田 哲也
JETRO 途上国貿易開発部長 石井 茂
株式会社野村総合研究所 副主任コンサルタント ※平本 督太郎
 - 16:00-16:10 休憩
 - 15:45-17:05 パネルディスカッション
＜モデレーター＞
早稲田大学 准教授 池上 重輔
＜パネリスト＞ ※印の登壇者
 - 17:05-17:30 質疑応答

7. お問い合わせ

早稲田大学ASB研究所

「BOPビジネスシンポジウム」事務局

担当 鏑山 /Tel: 03(5285)0265

申し込みは締め切りました

【講演者・プレゼンテーター・パネリスト・モデレーターの御紹介】



スチュアート・L・ハート

コーネル大学ジョンソンスクール教授

1997年に“Beyond Greening: Strategies for a Sustainable World”でマッキンゼー賞を受賞。2002年に、ミシガン大学C.K.プラハラード教授とともに、“The Fortune at the Bottom of the Pyramid”の記事を執筆、BoPビジネスの概念を提唱する。以来、SCジョンソン、デュボン、HP、テトラパック等の多国籍企業のBOPビジネスの取り組みを実践的にサポートしてきたBoPビジネスの権威である。著書に「未来を創る資本主義」(英治出版)等がある。

【モデレーター】



池上 重輔 (いけがみ じゅうすけ)

早稲田大学 准教授

早稲田大学商学部卒、英国ケンブリッジ大学経営学MBA、英国ケント大学大学院国際関係論修士、英国シェフィールド大学大学院国際政治経済学修士
BCG、マスターフーズ、GE、ソフトバンクECホールディングス、ニッセイ・キャピタル(株)を経て現職。専門は、グローバル経営、経営戦略、新規事業開拓。著書に「日本のブルー・オーシャン戦略」(共著、ファーストプレス)等がある。

【プレゼンテーター・パネリスト】



小山 智 (こやま さとる)

経済産業省 貿易経済協力局 通商金融・経済協力課長

東大法卒、スタンフォード大政治学修士。1986年入省後、中小企業支援、新事業促進、地域経済活性化、経済協力、インフラ輸出促進、資源エネルギー政策、多国間通商交渉等を担当。2009年より現職。政府におけるBOPビジネス支援の官民連携をリードしている。BOPビジネス政策研究会・研究会統括、「BOPビジネスのフロンティア～途上国市場の潜在的可能性と官民連携」編集。



山田 哲也 (やまだ てつや)

JICA 民間連携室連携推進課 課長

民間との連携によるより効果的で効率的な途上国支援のため、BOPビジネスやPPP(Public Private Partnership)インフラ事業等に政府開発援助機関の立場から取り組んでいる。2010年度からは民間提案型BOPビジネスFS支援制度「協力準備調査(BOPビジネスとの連携)」を運用。経済産業省BOPビジネス支援センター運営協議会委員。



平本 督太郎 (ひらもと とくたろう)

株式会社野村総合研究所 公共経営戦略コンサルティング部

副主任コンサルタント 兼 宮城大学非常勤講師

慶應義塾大学政策メディア研究科修了。BoPビジネスのコンサルティングを専門とする。経済産業省委託事業(平成20年度「グローバル企業と経済協力研究会」事務局、平成21年度「BOPビジネス政策研究会」事務局、平成22年度「BOPビジネス支援センター」事務局等)のプロジェクトリーダー、平成21年度NEDO「提案公募型開発支援研究協力事業」評価委員を歴任。著書に、「BoPビジネス戦略 新興国・途上国市場で何が起きているか」(東洋経済)等がある。

【プレゼンテーター】



石井 茂 (いしい しげる)

独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)

途上国貿易開発部長

早稲田大学卒業。ジェトロ入会後、シカゴ・センター次長、事業統括国内事業課課長、企画部海外事務所運営課課長、総務部総務課長、企画部主査、ヨハネスブルク・センター所長を経て、2011年より現職。

【会場地図】

会場: 早稲田大学 大隈記念講堂 小講堂
住所: 〒169-8050 西早稲田 1-6-1



【早稲田キャンパスへのアクセス】

- ◇JR山手線(高田馬場駅 徒歩20分)
- ◇西武線(高田馬場駅 徒歩20分)
- ◇地下鉄東京メトロ(東西線 早稲田駅 徒歩5分)
- ◇スクールバス(高田馬場-早大正門 5~10分)
- ◇都電(三ノ輪橋駅-早稲田駅 徒歩5分)